

安全作業手順書 【[雪氷]薬剤つぶし作業】



見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	△ 起こり得る (かなり小さい)	× 起こり得る (中程度)
	△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ 起こり得る (かなり小さい)	△× 起こり得る (かなり大きい)
	× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×△ 起こり得る (かなり大きい)	×× 起こり得る (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	床上操作式クレーン	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ 手袋、軍手、皮手袋、安全帯

危険ポイント		リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)		リスクの再見積り		
(～なので～になる)		(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)		(A)	(B)	リスク

作業区分	作業手順・作業内容		急所		危険ポイント		リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)		リスクの再見積り				
					(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)		(A)	(B)	リスク				
準備工	作業確認	雪氷作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する		○	○	1				
		作業員の役割を決める	①作業員全員で ②操作資格者を確認して	無資格者が操作、操縦を行ってしまう	/	/	/	/	必ず資格証を持参し、現場責任者は所持を確認する		/	/	/			
		作業前にクレーンの点検を行う	複数人で	点検不足により、作業中にクレーンが故障する	○	×	3	作業前に必ず点検を行う		○	○	1				
		作業前にフォークリフトの点検を行い、アタッチメントを取り付ける	複数人で	点検不足により、作業中にフォークリフトが故障する	○	×	3	作業前に必ず点検を行う		○	○	1				
本作業	荷卸し	トンバックを順番に降ろす。	クレーンを使用して	無資格者がクレーンを操作し、事故を起こす	△	×	4	世話役は必ず作業員全員の資格取得状況を把握し、資格所有者は資格証を必ず持参すること		○	○	1				
				吊チェーンが破断し作業員が負傷する	○	×	3	点検を確実にし、合図者は吊荷の下に絶対に入らない		○	△	2				
				作業員がトンバックと壁の間に挟まれ負傷する	○	×	3	合図者は吊荷の下に絶対に入らず、荷の移動中は極力距離をとる、必要に応じて警笛を使用する。		○	△	2				
	玉掛け作業	玉掛け作業員がトンバックの紐につまづいて落下する。	△	×	4	足元には十分、注意する。飛び降りせず、ゆっくりと降りる。		○	△	2						
	つぶし	フォークリフトで四方から薬剤をつぶす。	固形状態を確認し、必要に応じて複数回行う	移動中のフォークリフトと接触する。 トンバックが破れる。	△ /	×	4	操作者は、周囲に十分気をつけながら作業する 後退時は必ず誘導員をつける。 必要に応じて、アタッチメントに布などを噛ませる。		○ /	△ /	2				
荷揚げ	トンバックを順番に積み上げる。	クレーンを使用して	無資格者がクレーンを操作し、事故を起こす	△	×	4	世話役は必ず作業員全員の資格取得状況を把握し、資格所有者は資格証を必ず持参すること		○	○	1					
			吊チェーンが破断し作業員が負傷する	○	×	3	点検を確実にし、合図者は吊荷の下に絶対に入らない		○	△	2					
			作業員がトンバックと壁の間に挟まれ負傷する	○	×	3	合図者は吊荷の下に絶対に入らず、荷の移動中は極力距離をとる、必要に応じて警笛を使用する。		○	△	2					
玉掛け作業	玉掛け作業員がトンバックの紐につまづいて落下する。	△	×	4	足元には十分、注意する。飛び降りせず、ゆっくりと降りる。		○	△	2							
片付け	道具を片付ける	他の作業員等十分周囲に注意して	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、全体の動きを指示しながら片付けを行う		○	○	1					
特記事項	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地でKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。														